

青年部会 第3回定時総会 議案

第1号議案 2021年度（第2期）の活動を 振り返って

はじめに

第2期は

- ・プレイングマネジャーなどの参加しにくい会員さんを置いていけない活動

- ・宮崎を支える未来のリーダー育成
- ・同友会入会の入口となる明るく楽しい活動

の3点を青年部会の役割と掲げました。

30名の幹事、8つの委員会、6つの部門からなる組織をつくり、それぞれに細分化された役割を求めることにより、活動はコロナ禍ではありましたが活性化した実感があります。少しずつ新しいメンバーの関わりもみえてきました。しかし多くの企画を担当する委員会への負担の集中により疲弊を招いてしまったことや、幹事内に距離ができていないメンバーがいること、それぞれの委員会の役割の不明確さがあることが分かった等といった課題も挙がってきました。

そのような今期の活動を下記5つのポイントに沿って振り返ります。

①役割分担された組織による活動づくり

役割を明確化した委員会を中心とした組織体制を構築することにより、体系的な青年部運営ができるようになりました。それぞれの担当に役割を任せ進めることにより、活動創出の広がりや独自性が生まれ、また継続性をもって活動が進みました。

また運営負担の分散化に役立ちました。一方で、特定の委員会に役割が集中した結果、運営負担も集中してしまったことは大きな課題になりました。来期は青年部組織設計、役割ごとの役割定義、そして委員会の活動計画の設計をよく検討し、負担が集中しない活動づくりを考えていくことが必要です。

②青全交への報告者擁立、たくさんの会員の全国大会への参加促進

第49回青年経営者全国交流会from岐阜へ分科会報告者を推薦し、実現させることができました。また分科会づくり過程を通して、九州・沖縄ブロック内や開催県である岐阜同友会青年部の方々との交流を深め、学び合うことができました。

また全国行事で、宮崎同友会から119名の参加申込者を

出したことは大きな快挙です。101名という高い目標値を設定しなければ、ここまでの成果を出すことはできなかったでしょう。

③コロナ禍であっても増す県外青年部との学び合い

継続する厳しいコロナ禍にあっても、主にオンラインでの交流を通して宮崎県外の青年部の仲間との交流が増えました。他県の取り組みに学び、宮崎に持ち帰ってさらなる活性化をはかる流れが少しずつ定着してきています。

迎部会長の県外例会報告を通じた広島・岐阜・奈良同友会青年部との交流、滋賀から八谷氏、茨城から八巻氏を例会報告者に招いての交流、滋賀でのMG（マネジメントゲーム）研修への参加、そして九州・沖縄ブロックの青年部連絡会や中同協青年部連絡会での交流など、リアルとオンラインを駆使した青年部らしい県外交流が図れました。

④青年部会員の一体感の創出と価値ある学び

例会や経営戦略模擬会議、また望年会（スポーツ交流会）というような青年部らしい活動が増え、参加した新会員さんやゲストの方が大きな共感をもって青年部の活動に重点を置いて参加してもらうことが増えました。設立当初から狙っていた同世代による一体化や刺激による効果が表に出てきました。アンケート結果でも「楽しい」「ワクワク」「刺激」「悔しい」などの声が多くなってきています。

学びの中身としては、例会では近い年代の経営体験報告に共感と危機感の双方を抱きつつ、事業承継や経営者の姿勢と巻き込みの重要性、そして社員さんと真正面から向き合うことの大事さを学び合いました。経営戦略模擬会議では本音本気の作り込みと議論を通して言い訳できない環境に我々自らを追い込み、真剣に経営戦略と実践に向き合いました。小規模から始めた数字勉強会では生の決算書を配布という赤裸々な開示を通して学びの真剣度を高め、数字で経営を語り合い、自社を偽りなく高めていくための重要な手掛かりを確認しました。これら様々な学びの機会は、間違いなく我々の実践を促し、自身および自社に役立つ活動になっていると感じます。

一方で青年部役員の中でも、青年部への関わり方への差が生じているという指摘もあります。青年部会員という自覚がない方もまだ多い現状です。さらに活動しやすい環境をつくっていくと同時に、青年部会員であることの自覚を促す楽しい環境を合わせていく必要があります。

⑤仲間づくり（目標100に対し28名増）

100名の仲間をつくろうと目標をたてて活動した結果、40名の新しい仲間を増やすことができました。退会者が12

名で純増28名となりました。22名が卒業し第3期期首は162名でのスタートになりますが、それでも第2期期首よりも会員数が増えていることは素晴らしいことです。

ただし、目標達成には到底至らず大きな課題を残しました。達成するための計画設計と定期的な進捗確認が必要です。またオンラインが普及した今だからこそ、直接会って声をかけることの重要性がより問われているとも感じられます。

さいごに

青年部会第1期から続く新型コロナウイルスの影響は第2期の活動にも大きく影響し、我々の経営環境や業界、そして地域を大きく変化させています。行動様式や働き方が変わり、我々中小企業に期待されることも変わってきています。このような時代の中、我々青年経営者は良い未来を見据え、果敢にチャレンジしていく必要があります。第2期の青年部会では、この果敢にチャレンジしていく風土をみんなでつくりあげました。素晴らしいことです。

来期はそのチャレンジや計画をしっかりとチェックし、実現性や精度、達成度を高めてさらに成長していかなければなりません。果敢にチャレンジし、その達成にこだわる風土をみんなでつくり上げていきましょう。

2021年度（第2期）活動の記録

1. 青年部会会員数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
月初会員数	156	159	162	166	169	169
入会数	3	3	4	3	0	1
登録変更数	0	0	0	0	0	0
退会数	0	0	0	0	0	3

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	167	171	171	174	174	175	
	4	3	3	5	1	9	39
	1	0	0	0	0	0	1
	1	3	0	0	5	0	12

* 第2期で卒業22名
* 期末会員数162名

2. 例会等の開催

第2回定時総会

5月13日 Zoom会議で 46名

内訳：会員40名(25.2%) + OA会員4名 + 会員企業1名 + ゲスト1名

《例会》

5月例会

5月13日 Zoom会議で 59名

「本音本気で不離一体」

(株)アーム 代表取締役 阿萬英一朗氏（宮崎南支部）

内訳：会員45名(28.3%) + OA会員10名 + 会員企業2名 + ゲスト2名

8月例会

8月18日 Zoom会議で 67名

「同友会を使い倒せ！～仲間との出会いで、自分・自社の経営を強くする～」

(株)八谷 代表取締役 八谷香央梨氏

(滋賀同友会・青年部幹事長)

内訳：会員41名(4.6%) + OA会員7名 + 他県同友会8名 + 会員企業1名 + ゲスト10名

県北支部&青年部会合同10月例会

10月13日 延岡市中小企業振興センター & Zoom会議で 88名

「事業承継を学ぶ～経営者の道を示す、同友会活動～」

(株)つくば食品 代表取締役 八巻大介氏

(茨城同友会・理事)

内訳：36名(20.1%) + OA会員23名 + 他県同友会12名 + ゲスト17名

11月例会

11月25日 宮崎市中央公民館 + Zoom会議で 63名

「ワーキングママから企業家へ！～一歩を踏み出し続ける雪だるま経営～」

まつげエクステ&ヘッドスパ専門店 Relaluvu

代表 津曲智子氏（きりしま支部）

内訳：会員50名(29.3%) + OA会員3名 + 他県同友会1名 + 会員企業3名 + ゲスト6名

3月例会&卒業式

3月29日 MRTmiccで 62名

「どおじゃこうじゃ言わんでみんな参加すればよかつちやが！～これからの青年部に襷を繋ぐ～」

パネリスト (有)石井石油 代表取締役 長倉努氏

(きりしま支部)

(有)もりなが 代表取締役 日高康博氏

(宮崎北支部)

ダブルハウス(株) 代表取締役 渡会真也氏

(きりしま支部)

コーディネーター (株)ビューフィールド

代表取締役社長 前島崇志氏（宮崎南支部）

内訳：会員44名(24.3%) + OA会員8名 + ゲスト2名 + 他県同友会8名

《経営戦略模擬会議》

第3回経営戦略模擬会議

7月27日 同友会ネットワークセンター + Zoom会議で 26名

報告者 (株)TMS 代表取締役 関本卓氏（県北支部）

第4回経営戦略模擬会議

10月28日 未来創造ステーション & Zoom会議で 28名

報告者 ダブルハウス(株) 代表取締役 渡会真也氏

(きりしま支部)

第5回経営戦略模擬会議

2月4日 Zoom会議で 19名

来期の経営戦略模擬会議のあり方を考える総括会議

《グループ長研修》

5月例会グループ長研修

5月7日 Zoom会議で 15名

《新会員オリエンテーション》

6月15日 Zoom会議で 41名

「同友会とは」 宮崎同友会 代表理事 竹原英男氏
 (株)TNAソリューションデザインズ 代表取締役
 「青年部会とは」

宮崎同友会 青年部会部会長 迎敦雄氏
 (株)南九州みかど 代表取締役

9月24日 Zoom会議で 17名(うち新会員 6名)

「同友会とは」 宮崎同友会 代表理事 竹原英男氏
 (株)TNAソリューションデザインズ 代表取締役
 「青年部会とは」

宮崎同友会 青年部会部会長 迎敦雄氏
 (株)南九州みかど 代表取締役

《その他の活動》

レクリエーション&望年会

12月25日 どんふいん体育館&fisherman漁師の牡蠣小屋で 16名(8%)+子供4名

数字で語れるようになる勉強会

3月9日 同友会ネットワークセンターで 13名

決算発表：(株)ビューフィールド 代表取締役社長
 前島崇志氏 (宮崎南支部)
 (有)齊田商事 代表取締役 齋田知明氏 (ひむか支部)

他団体との交流会

4月4日 Zoom会議で 23名

パネルディスカッション「地域の力」

パネリスト：宮崎県中小企業団体中央会青年部

会長 横山義和氏

宮崎県商工会議所青年部連合会 (YEG)

副会長 漆野和久氏

公益社団法人日本青年会議所九州地区宮崎ブロック

協議会 会長 関谷祐作氏

宮崎県中小企業家同友会青年部会 部会長 迎敦雄氏

コーディネーター：宮崎県中小企業家同友会青年部会

副部会長 渡会真也氏

内訳：14名(10.0%) + 宮崎県商工会議所青年部連合会

6名 + 宮崎県中小企業団体中央会青年部 2名

+ 公益社団法人日本青年会議所九州地区宮崎

ブロック協議会 3名

《他県との交流》

8月6日 Zoom会議で

広島同友会・青年部会連絡協議会県外交流会で迎敦雄氏(株)南九州みかど・宮崎北支部)が報告。他に宮崎同友会から12名参加。

報告テーマ「ひむかから来た、てげえ熱男～P D C Aと不離一体経営～」

10月4日 Zoom会議で 中同協青年部連絡会に 8名出席

1月19日 奈良県 + Zoom会議で

奈良同友会青年部会 1月例会で迎敦雄氏(株)南九州みかど・宮崎北支部)が報告。他に宮崎同友会から7名参加。

報告テーマ「型にはまらない青年経営者、魂の叫び～本気でやる！社員数2倍、売上3倍、経常利益114倍の極意！」

5月13日 九州・沖縄ブロック青年部合同例会in長崎の第3分科会で(有)永峰養豚場 代表取締役 永峰智浩氏(きりしま支部)が報告。他に宮崎同友会から52名参加。

長崎

報告テーマ「やりたいことの計画立てたら20億円になりました～自己資金ほぼゼロからのチャレンジ～」

3. 幹事会の記録

第1回 5月13日 Zoom会議で 出席：25名(83.3%)

第2回 5月18日 Zoom会議で 出席：23名(76.7%)

第3回 6月17日 Zoom会議で
 出席：23名(73.3%) + O A会員 1名

第4回 7月15日 Zoom会議で 出席：23名(77.0%)

第5回 8月19日 Zoom会議で 出席：22名(73.3%)

第6回 9月16日 Zoom会議で
 出席：22名(70.0%) + 講師 1名

「コロナレポートについて」

経営指針委員会 副委員長

東郷浩二氏 (有)東栄空調 代表取締役

第7回 10月21日 Zoom会議で 出席：22名(73.0%)

第8回 11月18日 Zoom会議で 出席：21名(70.0%)

第9回 12月16日 Zoom会議で
 出席：19名(63.30%) + 講師1名

第10回 1月20日 Zoom会議で 出席：17名(56.7%)

第11回 2月16日 Zoom会議で 出席：18名(60.0%)

第12回 3月17日 Zoom会議で
 出席：19名(63.3%) + 次期幹事予定者3名

第13回 4月21日 Zoom会議で
 出席：16名(53.3%) + 次期幹事予定者3名

第14回 5月17日 Zoom会議で

4. 青年部だよりの発行

No.17 8月 No.18 12月 No.19 4月

第2号議案

2022年度(第3期)の活動方針と活動計画

1. はじめに

2019年11月30日に設立した宮崎同友会 青年部会の第3期は、青年経営者の学びの場は不要不急ではないと考え、

「経営の話しよう!!」をスローガンに活動します。前期第2期は青年経営者の学びの場を広げようと青年部会員数100名純増を掲げ活動しましたが、28名純増と目標より少ない結果となりました。しかし、青年部活動に参加する会員さんが増えたという事実もあります。

第3期はより深い経営の交流ができる場づくりのためにもface to faceを大切に、経営者団体の青年部会として結果にこだわる活動をしてまいります。結果にこだわるためにまず必要なものは、目指すべき方向「VISION」です。第3期は第4回総会で発表する宮崎同友会青年部「2030VISION」づくり。そしてVISION実現のための宮崎同友会青年部の指針づくりを行います。その足掛かりとなる第3期としてこだわる結果は50名の純増です。

結果にこだわる我々青年経営者は、5年後の宮崎同友会、そして宮崎経済界の支えるべく、切磋琢磨していきます。青年部を経て、同友会だけではなく経済界で活躍する人材を輩出することと共に目指し、豊かな未来を実現しましょう。

2. 宮崎同友会青年部会 活動理念

魅力リーダーになろう!

学びを共に実践しよう!

地域に仲間を増やそう!

3. 第3期スローガン 「経営の話しよう!!」

4. 第3期 活動方針

(1) 青年経営者の学びの場である青年部は、同友会の運営や宮崎経済の担い手育成のための訓練の場とらえ、社業を優先しつつ、支えあい、学び合いながら運営できる会づくりをめざします。

(2) 本気本音で青年部活動を楽しみながら輪を広げ、期末の青年部会員を50名増やします。

(期首162名なので、期末会員数212名を目指します。)

(3) 委員会を青年部運営の土台とし、委員会により青年部会活動を実行していきます。(つまり委員会の活動方針・計画が、青年部会の具体的活動計画となります。)

青年部会員は委員会に参加することによりその活動を通して様々な学びを得て、会内および自社にて実践することをめざします。そのため全ての青年部会員は委員会へ所属します。また青年部役員は、部会や委員会の役を担い運営に携わります。

(4) 全県下の活動である青年部は、すべての支部や県内地域にて行事を開催します。またリアル開催だけでなくオンライン配信も合わせるハイブリッド形式での開催を積極的に取り入れます。(幹事会については100%ハイブリッド開催)

その実現のため青年部会員のZoom普及率(使えるという意味)100%を目指します。

(5) 会議(幹事会など)は2時間以内で終了、例会などは2時間半以内で終了を原則とします。

(6) 青年部会としての活動指針を正副部会長を中心に取りまとめます。またその活動を通して、経営指針経営を広げる機会につなげます。

(7) 9月に兵庫で開催予定の第50回青年経営者全国交流会を青年部例会の一部として多くの会員の参加を促します。また5月に長崎で開催予定の九州・沖縄ブロック青年部合同例会の開催準備や運営にも積極的にかかわり、多くの会員の参加により九州内での関わりを増やしブロックを盛り上げます。

(8) 10月に開催予定の第31回みやざき中小企業経営フォーラムに積極的に関わり、参加します。

《魅力リーダーになろう部門》

①組織強化委員会

『目指せ!魅力リーダー!!挑め!自分!!』

【基本方針】

・悩める青年経営者が自らの経営課題に対する解決策や新たなビジネスモデルを提示し、参加者はその会社の役員になったつもりで本気で経営と向き合い語り合う経営戦略模擬会議(以下「模擬会議という。」)を開催します。模擬会議では安心して話せる場をつくり、参加者が本気で語り合い、本気で経営と向き合うきっかけになる企画を目指します。報告者は青年部を対象と致します。報告者のその後は、青年部だより等で経過を報告してもらい模擬会議の有用性をアピールします。

・SDGsをテーマにした企画も開催する予定です。

【計画】

6月、9月、12月、3月に模擬会議開催

【目標】

「入会のきっかけは経営戦略模擬会議!」となるよう模擬会議に参加したゲストから年間5名の入会。

【ゲスト参加目標】 5名

②算盤委員会

【基本方針】

数字で語れる経営者となるべく、決算書の構造、活かし方を学ぶ場をつくります。決算書発表会を企画し、青年経営者の決算書を紹介する場を設け、参加者には対外的な数字の見せ方や数字の見方を学んでもらいます。またマネジメントゲームMG研修(以下「MG研修」という)から、ゲームを通じて「経営体験」を行い、現経営者や事業承継を控えている方々へ擬似的に様々な経営経験を積んでもらいます。体験学習で自社の課題を認識することへ繋がります。

【活動計画】

7月 第1回MG研修

講師 滋賀or熊本同友会青年部メンバー

10月 数字で語れる経営者になろう勉強会(決算報告会)

報告者：第1回勉強会参加者から

2月 第2回MG研修

講師 滋賀or熊本同友会青年部メンバー

4月 数字で語れる経営者になろう勉強会(決算報告会)

【ゲスト参加目標】 5名(MG研修)

《学びの幅を広げる部門》

③渉外委員会

【基本方針】 「井の中の蛙大海を知らず」脱出作戦

私たち同友会青年部は青年部会・各支部を中心に活動しています。

もちろんその中での学びは大きく、経営者としての成長と会社の成長に繋がるものと考えます。

昨今コロナ禍によりオンラインやデジタルが一気に広まったと同時に、人とのつながりや触れ合いの重要性が目立っています。また各地域により取り組み方法や速度に大きな差が生じ始めています。

また、県外の経営者との学びや交流が限定的になっていると感じる部分もあります。宮崎同友会という「井の中」から飛び出す事で、学びや交流を深め更なる経営者としての成長と会社の成長につなげ、「良い経営者になろう」「良い経営環境を作ろう」の部分をもより深める事ができるのではないのでしょうか？

今こそ宮崎の外を良く見て、県外青年部とのつながりを深めて学びを増やし、我々青年経営者から宮崎を引っ張っていきましょう。

①九州・沖縄ブロック青年部合同例会・青年経営者全国交流会を中心に、県外での例会やその他活動にZOOMを利用するなどして、積極的に参加していく。

②参加者は、その魅力を県内会員に積極的に発信し、今後の参加者の増員につなげる。

③県内会員との学びと交流にとどまらず、県外会員との学びと交流を持つ事により、県外の地域格差や経営基盤の違いから学びを得る。

【活動計画】

・県外報告者や県外青年部来訪者との交流を促し、宮崎青年部の活性化を図る

・中同協青年部連絡会へ参加

・九州・沖縄ブロック青年部連絡会へ参加

5月 第3回九州・沖縄ブロック青年部合同例会への参加(目標参加者101名)

8月 県外報告者例会の開催(目標参加者数100名)

9月 第50回青年経営者全国交流会in兵庫への参加(目標参加者 青年部会10名)

3月 第53回中小企業問題全国研究集会in長野への参加(目標参加者 青年部会10名)

【ゲスト参加目標】 10名(例会)

《魅力発信部門》

④広報委員会

【基本方針】

①青年部活動の主体である例会の魅力発信を行います

②各活動における会員の活躍と青年部活動の魅力発信を行います

③魅力発信を通して会員増強につなげます

県の広報戦略委員会では、広報の役割は会員増強であるという方針のもと活動しています。魅力発信部門としても青年部会の会員増強につなげられるような活動をと考えています。

【経験スキル・ノビシロ】

○自社の魅力発信を考えるきっかけにする

○会員・会員企業の活動・魅力に深く触れることで、自分の行動や自社の魅力を伸ばすきっかけにする

【部会内役割】

・例会や各活動を、Facebookなどを通じて発信

せっかく魅力ある例会や活動を行っても、その活動や内容が会員やゲストさんに届かないと意味がない！ワクワクするような、つい参加したくなるような発信にしたい。

・作成依頼にもとづき行事の案内チラシの作成

・青年部だよりの発行(3～4か月ごとの発行予定)

→例会・活動レポート

→経営戦略模擬会議の追跡記事の掲載(取材や寄稿は組織強化委員会と連携して行う)

→新会員企業訪問などの取材・写真撮影・投稿！！

・広報例会(11月に宮崎南支部との合同として開催予定)

【やりたいこと】

☆青年部だより制作の効率化(制作の負担軽減)

☆例会のチラシ等の工程日程の構築

☆青年部だより素材集めに関する役割分担の明確化

☆第2期メンバーとの交流会♪♪(今期オブザーバー希望 事案ですw)

【検討事案】

・経営者(先代)と後継者の本音記事

各社の事業継承を行う(または行った)「経営者」と「後継者」がお互いに思っていることの本音を記事にする(良い事も悪い事も)

お互いに腹を割って話しができていない方、現状不仲な部分がある方が改善したい方

本人の要望ありきで取材を行う

1～2年後にあれからどうなっているか?の記事を再掲したい

・個々人の目標を立てて、進捗を記事に載せる

1～2年で達成可能な目標

2～3か月ベース(青年部だよりの発行に合わせて)で進捗を記載する

目標を共有することでお互いの背中を押す押される＝

やるべきことが進んでいく様な状況をつくりたい

自由参加

社内の改善、資格取得、技術取得、ダイエット、社内目標でも個人目標でも可

その他、委員会のメンバーの意見を聞きながら楽しんで活動していきます

【ゲスト参加目標】 5名

《地域に仲間を増やそう部門》

宮崎を支える魅力リーダーに、俺はなる！

巻三“仲間づくり”

経営の話をし合える、本音で語れる仲間づくりの入口、「視野を広げる交流の場」と「楽しみながら交流を深める場」の2つの場づくりを担います。

⑤他団体交流委員会（視野を広げる交流の場づくり）

【基本方針】

他団体から、即テデパ！幹事会のベクトル合わせ

他団体青年経営者と幹事会メンバーとの交流の場をつくりまします。他団体の良さや考え方の違いに触れ、幹事会メンバーが改めて宮崎同友会青年部会の強み・弱みに気づき、他団体の良いと思うことは即テデパし、幹事会の活性化につなげます。

経営の話をし合える、本音で語れる仲間を増やしていくために、まずは幹事会メンバーが「同友会青年部は●●なところがいい」と共通認識を持てるようにしていきたい。

また同友会青年部の魅力をガンガンPRし、新たな仲間を増やすきっかけにもしていきます。

【活動計画】

9月上旬 他団体懇親会（関係を築く）※他団体+幹事会

10月上旬 他団体交流イベント（メイン）※フォーラム声かけを兼ねて

2月 他団体意見交流会※他団体+幹事会

⑥祭委員会（楽しみながら交流を深める場づくり）

【基本方針】 仲間ってサイコー！

楽しいことから参加でいいんじゃない！？

第2期青年部会では交流委員会として活動をしていましたが、第3期交流委員会は祭委員会として生まれ変わりました。祭委員会は同友会活動に自主的に参加する青年部会員を増やす入口、会員同士の交流を通してつながりを強くするための行事を企画・運営していきます。祭委員会に参加する委員は行事の企画・運営を通して、組織を強化するために必要なことはどのようなものであるかを学ぶことができます。

【活動計画】

・5月九州沖縄ブロック合同例会長崎バスツアー

2022年5月に長崎県にて開催される九州・沖縄ブロック合同例会に(有)永峰養豚場の永峰社長が報告者として登壇されます。祭り委員会としては永峰社長を応援し、ともに九州ブロック合同例会に参加し学び合うメンバーを募ります。

長崎までは、県北支部のハッコートラベル(株)さんにバスを出していただき、県内の各地で会員メンバーが乗車する形で向かいます。学びは距離に比例する！同友会青年部会のメンバー同士で往復するバスの中でも経営談議に花を咲かせましょう。

・8月青年部BBQ

前期の活動に予定をしていましたが、コロナ禍の影響もあり開催困難となっていた青年部BBQ、コロナ禍の状況を見ながらではありますが今回は開催を企画します。

開催にあたっては家族の参加なども含めて検討し、会員同士がお互いを深く知り合う場を提供します。

・11月青年部スポーツ大会&望年会

昨年12月に開催した「めざせ健康企業経営！青年部だらけの年末望年会」は会員の子供たちも参加し大変盛り上がりましました。第3期も健康を意識しながらも未来を語る場として青年部スポーツ大会&望年会を企画します。会員同士で汗をかきながら熱く交流するイベントになります。

・3月青年部第2回卒業式

第1回卒業式では22名の方が青年部を卒業しました。この機会をとおして青年部会の活動を次代に繋いでいくことの重要性や恩送りの考えかたを改めて感じることができました。第3期の活動においても同様に青年部第2回卒業式を企画します。卒業される先輩方が宮崎同友会を牽引するリーダーとして活躍いただけるように青年部会としてしっかりと送り出しましょう。

★第4期に向けて

他団体交流委員会、祭り委員会は第4期に委員長を担ってくれる後継者育成にも努めていきます。

【ゲスト参加目標】

BBQ 5名 運動会 5名 卒業式 10名

《学びを共に実践しよう！部門》

⑦例会委員会

【基本方針】

①経営者座談会（お客様の不安、不満、困りごとの見える化）会員さんやゲストさんがどのような事を求めているのかを知る機会をつくりまします。（マーケティング、コミュニケーション）

②例会を分かりやすくつくり込みができるようにシステム化。（資料の一括管理、役割、行うことの明確化）例会づくりのシステム化で例会づくりの負担を減らし分かりやすくします（商品開発、会社づくり、作業指導書）。例会をスムーズにつくれるサポートを行う。例会づくりって大変そう、何やったら良いのか、どうやったら良いのか分からないを解決します。

③アンケートにより、座長、室長をやってみたい方を確認。会内外、県内外で報告を聞いてみたい方を確認します。集まった情報から会員さんの聞きたい例会が何かを探ります。

④2023年度には例会委員会として総務へ合併し各部門の例会づくりの横ぐしとなるように動きます。お客様の不安、不満、困りごとに沿う形をつくる。
例会のつくり方を通して、システム化し分かりやすく作り込みができるようにする。

【活動計画】

- 7月 一経営者座談会ー（後継者の悩みや不安をさらけ出して聞いて共有）
聞き役1人と後継者数名のグループ
今現在の不安や不満を引き出そう！
商品顧客の創出、会社の仕組み、資金繰りなどカテゴライズして見える化しよう
解決策を探ろう
※聞き役のメリット、社員さんから話を引き出す力が付きます
※参加者不安や不満の共有、共感、見える化によって解決策が見つかる可能性があります。
- 8月 一例会づくりのシステムの提案ー
例会づくりの不文律の部分をPDCAができるようにし、例会づくりの効率化とわかりやすさをつくる。
各部門の例会づくりのサポートを行い、システムの改良を行う。
- 1月 一例会ー
座談会から見えたテーマを1つ絞り、例会づくりシステムにのっとって作り上げてシステムの検証を行う

【ゲスト参加目標】

座談会 3名 例会 8名

《未来を！？部門》

⑧VISION委員会

【基本方針】

九州ビジョン委員会で学んだことを活かしつつ、宮崎同友会青年部ビジョンづくりに全力で取り組む。
宮崎のビジョンづくりに取り組むことで、自社事業のビジョン及び経営方針をつくる懸け橋としていきます。ビジョンづくりを行うと共に、そのビジョンをどう活かし続けるか、次世代にどうつないでいくかを考えていきます。

【部内役割】

- ①2030Visionづくりを主体的に行う
②月に1回のビジョン委員会会議の開催
③Vision例会の開催（9月）
④2030Vision づくりのアンケート調査

【ゲスト参加目標】 20名

《組織運営部門》

⑨総務委員会

【基本方針】

支部をまたぐ大きな組織である青年部会がしっかり活動を推進していくため、組織運営や各委員会活動の下支え

を担います。

幹事会では会運営に加え、司会を担うことにより会議の進め方を学び合い実践します。そして幹事会で決定したことを踏まえて、誰がいつまでに何をするかを整理し、決定事項の実現のため一体となって動けるような仕組み・風土づくりをします。

組織運営やファシリテーションスキルを学べる委員会です。

【部内役割】

- ・毎月の青年部幹事会の司会進行
- ・幹事会議事録から決定事項を整理し、やるべきことを幹事へ通知する
- ※司 会：総務委員会
議事録：幹事持ち回り
- ・全体のスケジュールを見ながら月に2回程度今やるべきことのリマインド
- ※幹事会直後&幹事会の約2週間後
- ・総会（5/24）の準備・設営、当日の進行
- ・青年部会員への委員会紹介&応募案内（総会后）
- ・青年部会員リストの整備

【ゲスト参加目標】

0名（総会は青年部会員向けの内容のため。ただしゲスト参加を制限する意味ではありません）

【幹事会】

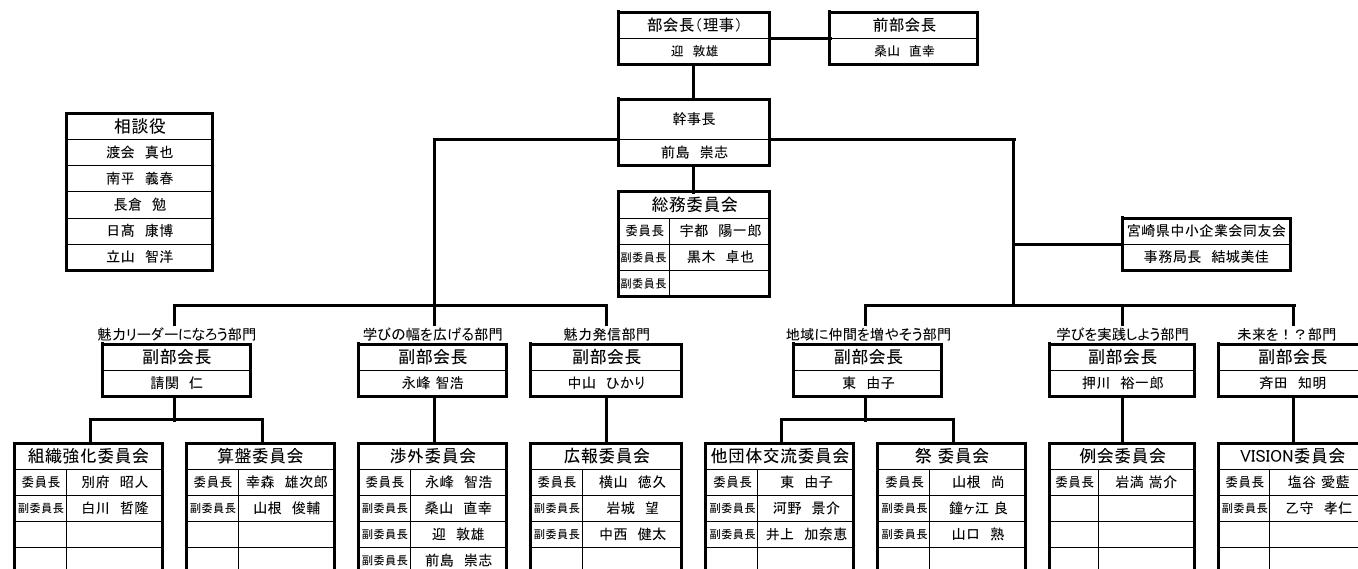
- ・開催は原則第3木曜日の18時～20時の開催とします。（一部異なる月があります）
- ・幹事会資料は原則第3月曜日の正午までに事務局に提出します。
- ・議事録は青年部役員の中から有志を募り交代制で実施します。
- ・正副部長は事前会議（幹事会の2週間前の開催）で幹事会での予定議案をつくります。

【活動スケジュール】 *日程は変更になることもあります

		幹事会 (運営:総務)	活動			
			日程	活動種類	担当委員会	開催場所
4月	4/21木	宮崎	4/4月	他団体交流例会	他団体交流	ZOOM
			4/16土	春企画	祭	宮崎
5月	5/17火	新富	5/13金	九州合同例会in長崎	実行委員会	県外(長崎)
			5/12-14	合同例会バスツアー	祭	県外(長崎)
6月	6/16木	都城(歓迎会付)	5/24火	青年部総会	総務	高鍋
			6/23木	経営戦略模擬会議	組織強化	都城
7月	7/21木	延岡	7/4月	経営者座談会	例会	ZOOM
			7/15-16 or 29-30	数字(MG)	算盤	宮崎
8月	8/18木	新富(歓迎会付)	県外報告者例会		渉外	
			8/20土	懇親会(BBQ)	祭	
9月	9/14水	宮崎	9/2金	他団体交流懇親会	他団体交流	
				経営戦略模擬会議	組織強化	日南
10月	10/18火	延岡(歓迎会付)	9/15-16	青年交流in兵庫	全委員会	県外(兵庫)
			9/22	VISION例会(合同)	VISION&ひむか	ひむか支部内
11月	11/16水	都城	10/7金	他団体交流イベント	他団体交流	
			10/28金	数字(勉強会)	算盤	都城
12月	12/15木	宮崎(歓迎会付)	11/17木	広報例会(合同)	広報&宮崎南	宮崎
			11/26土	大運動会(望年会)	祭	宮崎
1月	1/19木	新富		経営戦略模擬会議	組織強化	高鍋
			1/20金	例会	例会	
2月	2/16木	都城	2/10金	他団体意見交流会	他団体交流	
				県北支部例会(合同)	調整中	県北支部内
3月	3/16木	延岡		数字(MG)	算盤	日向
				経営戦略模擬会議	組織強化	
4月	4/20木	宮崎	3/24金	卒業例会・卒業式	祭	宮崎
			4/21金	数字(勉強会)	算盤	

《青年部会 組織図》

2022年度(第3期) 青年部会組織図 (案)



《青年部会 役職定義》

役職名	役割	役割の内容	経験・スキル	出席会議
委員	委員会活動メンバー	主役	興味	担当委員会
副委員長	委員会の運営 ・委員会活動の計画、実行、評価、改善	委員長の不在時の委員長代行	ノビシロ	担当委員会 青年部幹事会
委員長	委員会の運営 ・委員会活動の計画、実行、評価、改善を提案	委員会の統括 副部会長不在時の副部会長代行	ノビシロ リーダーシップ	担当委員会 青年部幹事会
副部会長	青年部会の運営 ・青年部方針の計画、評価、改善 ・担当委員会以外との部門間連絡調整 宮崎同友会青年部指針作成メンバー	担当委員会をナイスフォロー 担当活動が活動方針に沿っているか 活動準備段階での確認 宮崎同友会青年部指針作成	ノビシロ 経営指針書作成 (期內作成予定)	委員会 青年部幹事会 正副部会長会議 九州ブロック会議
幹事長	青年部会の運営 ・青年部方針の計画、評価、改善 宮崎同友会青年部指針作成メンバー	部会長不在時の部会長代行 担当委員会をナイスフォロー 青年部活動が活動方針に沿っているかの確認 宮崎同友会青年部指針作成	ノビシロ 経営指針書作成	委員会 青年部幹事会 正副部会長会議 九州ブロック会議
部会長	青年部会の運営 ・青年部方針の計画、評価、改善を提案 宮崎同友会青年部指針作成メンバー	理事 宮崎同友会青年部指針作成	ノビシロ 経営指針書作成 経営指針発表会	青年部幹事会 正副部会長会議 九州ブロック会議 青年部連絡会議 組織強化連絡会議 理事会
前部会長	青年部の運営補佐 宮崎同友会青年部指針作成メンバー	全青年部会員のナイスアドバイス	ノビシロ 愛	青年部幹事会 正副部会長会議 九州ブロック会議 青年部連絡会議